

アンケート集約結果（教育文化部会）

「まちづくり委員会活性化のために」

■参加者を増やすために

Q：あなたが今後もまちづくり委員会に参画をするに当たって、望むことをご記入下さい。

- 年甲斐もなく参加しましたが、だんだん負担を感じます。野暮用も多く、オブザーバー的だと有難い。面白いし関心もある。
- 組織（所属）の推薦でなく、個人で参加。
- 地域コミ協または集落連絡員単位でまちづくり委員会での協議の場の拡充。
- 合併後、各界、各層から諸問題が提起されてきているので、「合併の総括」をすることも重要ではないか。「合併協」から引き続いた委員以外は、流れ（パートナーシップ協定等を含む）を理解するのに苦慮している。
- なかなか日程が合わず参加できない。年間計画が無理なら半年計画でも良いので会合の日程を早めに教えてもらいたい。
- 話し合ったことが成果となるような事例が少ない現状（私が知らないだけなのかもしれないが...）。ささやかであっても「さいの神」と「かるた大会」「昔話」の視聴等のような具体的な活動を市民に体験してもらえそうな実績をつむことが参画してみようといった気持ちにつながる。

Q：さらに多くの市民に参加してもらうためには、どんな方策があるでしょうか？

- 飲みニケーション。
- 一本釣り。
- 次回の宿題的、投げかけ、質問、討議。
- 個々の事例についてのみの参加を可能にする。
- 合併前町村別で（地域集落）の役員の中から2~3名の参加を求めること。
- 市内には各団体、組織があるので、それらの人達からも参加するように手配したらどうでしょうか。テーマ、課題によっても違うと思いますが、青少年育成協議会、PTA協議会などに声かけする。
- 市民全員（赤ちゃんからお年寄りまで）ということなので、小学生や中学生にどんなまちになってほしいか聞く機会を持つなど多くの年齢層にアピールしてはどうか？
- 「まちづくり委員会」とはなんぞや理解していない市民が多い。ペーパー作戦と合わせて、FM放送（ない所には早く市内平等に対処すべきだ）や無線等の活用を図ってはどうか。委員自身が面白いと感じ、呼びかけできるようになりたいものだ。

■組織について

Q：部会制度に望むことをご記入下さい。

- ・思いつかない。
- ・若者、女性をなんとか増員できれば。
- ・小・中・高に出向く。
- ・各部会の中または小部会を作り、その小部会での小案件から実践。又は、すぐ提案する部会設置での検討会。
- ・従来どおりでよい。(小部会の設置も案ですが、具体的に動くのは現状では無理かも。)
- ・一つの部会だけではなくいろんな部会へ意見を持っている人がいると思うので、横断的に出席できるようにしてはどうか？
- ・部会制度が現状のままならテーマによっては部会間の交流があっても良いのではないか。他の部会の動きがペーパーによって知る程度では関心が薄く、協働意欲も湧かない。

Q：会長・副会長・部会長等の役員制度に望むことをご記入下さい。

- ・うまくいっていると思う。
- ・現状制度で良いと思われるが、同役員については大変なことでするので誰でも良いというわけにはならない。
- ・現状でよい。
- ・提言を実行できる体制があれば良いと思う。
- ・特になし。部会長のリーダーシップの如何で部の活動が左右される。現行で満足。部会間の連携は密にリードしてほしい。

Q：運営委員会制度に望むことをご記入下さい。

- ・本当はよくわかりません。
- ・現状で良いと思いますが、各部会副部会長 2 名、書記 1 名位の組織が良い。
- ・ワークショップ等で集約された結果が配付されているので、課題の解決のための方策を実施したらどうでしょうか。
- ・提言を実行できる体制があれば良いと思う。
- ・「制度」については問題がないが、委員会の構成メンバーが固定化され新鮮味に乏しい。地域のコミ協の役員等、実践を多く積んで成果を挙げている人達をメンバーにしたい。

■市との協働について

Q：魚沼市に望むことをご記入下さい。

- ・せっかく選んだ首長や議員。欠点よりも長所をのばしてもらったり、バックアップ。一緒に勉強する姿勢や機会が不足。
- ・委員会の提言、意見等が市政に反映しているか。

- 年度初めに市全体の年度方針、重点活動等、市幹部、市議会議員を招き、当委員会で検討協議を行うことを望む。
- 「人と四季がかがやく雪のくに」を常に意識して施策を実施するように。合併時の目標であり、精神的な事柄かも知れないが、重要なことだと思う。
- 市としての方向がよく分かりません。5周年で作ったキャラクターの使い方も中途半端だったし、その名前がなぜか別のキャラクターになっている。物事を決めてもつながりが無くどぎれどぎれになっている。ビジョンをきちんとしてほしい。
- まちづくり委員会に議員、市職員（担当職員以外）のまちづくり委員会にオブザーバーとして参加するような啓蒙がなされるよう切望する。議員の姿など見られないが、どんな働きかけがなされているのか知りたい。

Q：魚沼市とまちづくり委員会の協働を進めるために、どんな方策があるでしょうか？

- 目的が良く分かりませんが、希望・要望等をまとめて提案するのでしょうか。役所か首脳か議会かきちんと受けとめて、それなりの反応、返答、検討結果があれば。
- 各地域のコミュニティ協議会との連携が必要。
- 市民の皆さんの市に求める関心ごと、お願い事を地域単位でまとめ当委員会で協議。すぐ提案する部会での協議。
- 合併後、従来の自治体にはない組織、活動ですから問題がたくさん出るのは当然。地道にやっていく他に方法はないと思う。
- 市としての進みたい方向と住民の望む市のかたちを各々はっきりさせるための方法を考えていけないか？
- 各委員会で提案された問題の中で市当局と協働するにふさわしい問題の中からピックアップして協議し解決すること等がなければ机上の空論に終わりかねない。提言が実現されてこそやる気にもなるだろう。

■その他

Q：まちづくり委員会の活性化のために、自由なご意見をご記入下さい。

- 高齢者数（割合）を減らせば時間的にもスムーズに発言も行動も活発になるのでは。
- 市民の声をもっと吸い上げる。（委員の委員会ではなく）
- 参加者の増員とPR。市全体へ、当委員会の役割とこれからの当委員会の役割、これからの市の取り組み等を市民にわかるようPR。
- 地域コミ協や公民館、各団体と連携ができるように工夫してほしい。それぞれ悩みを持っているのですから、ひとつでも解決できることを望む。
合併後、市の予算が増加していることは不思議なことだ。
- まちづくり委員会の部会の出席率の悪いこと。市の担当者の人数よりも数が少ないことさえある。欠席の場合には、テーマについての意見を紙面で提出するぐらいの責任感を感じてほしいものだ。方策については、その部会で考えよう。
地域コミュニティの構成員の中からまちづくり委員会に参加できるよう働きかけを。パ

イブが細すぎる感あり。

少数の参加者でほとんど変わらない顔ぶれで新鮮味がない。他地域との交流会とか、出かけるもよし、招くもよし、新しい風を入れることを考えてほしい。